

1. 4月以降の気象経過(図1)

<4月> 気温は低く、降水量はかなり多い

4月の月平均気温は平年差 -0.3°C と平年より低くなりました。日照時間は平年比110%とほぼ平年並でした。降水量は18日に大雨が降ったことから平年比177%とかなり多くなりました。

<5月上旬> 気温は高く、降水量はかなり少ない

平均気温は平年差 $+1.6^{\circ}\text{C}$ と高く経過しました。日照時間は平年比92%と平年並、降水量は平年比10%とかなり少なくなりました。

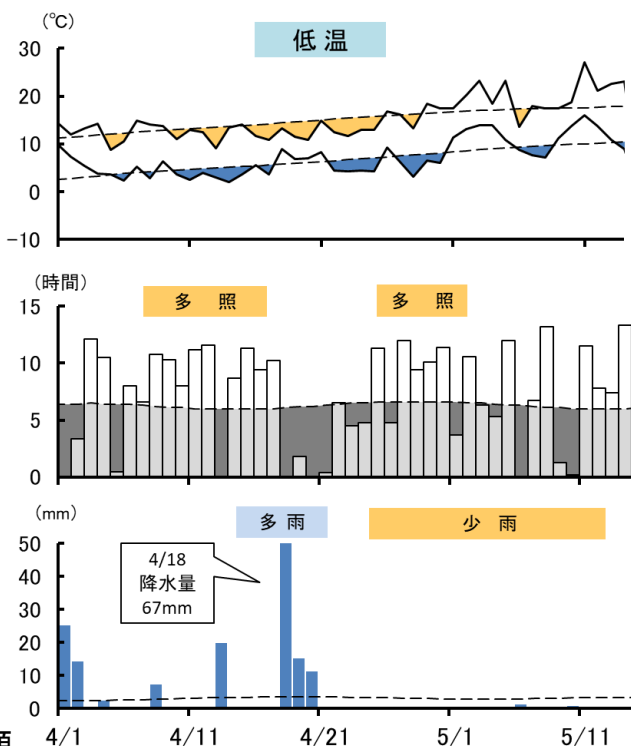


図1 気象経過(アメダス石巻)

※上:最高・最低気温, 中:日照時間, 下:降水量
※ 点線は平年値

2. 生育調査ほの生育状況

(5月14日現在, 表1, 下写真)

◆シュンライとミノリムギの出穂期は平年よりも遅い傾向です。一方、シラネコムギの出穂期は平年並となっています。

それに伴い、成熟期もシュンライとミノリムギで平年よりも遅くなり、シラネコムギで平年並～平年よりやや遅くなると予測されます。

表1 生育調査ほの生育ステージ

品種	調査ほ (旧市町)	播種日		減数分裂期		出穂期		成熟期		
		R1年 (月/日)	平年差 (日)	R2年 (月/日)	平年差 (日)	R2年 (月/日)	平年差 (日)	R2年見込み (月/日)	前年産 (月/日)	平年 (月/日)
シュンライ	神取 (桃生)	11/02	+13	4/20	+2	5/02	+6	6/11 ~ 6/16	6/05	6/05
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	11/01	+11	4/22	+0	5/06	+4	6/15 ~ 6/20	6/10	6/12
	真野 (石巻)	11/17	+25	4/22	+2	5/05	+7	6/14 ~ 6/19	6/10	6/05
ホワイトファイバー	水沼 (石巻)	11/08	/	4/19	/	4/29	/	6/08 ~ 6/13	6/03	/
シラネコムギ	小船越 (河北)	11/09	+12	4/30	-2	5/11	+1	6/25 ~ 6/30	6/24	6/23
	太田 (桃生)	11/02	/	4/27	/	5/09	/	6/23 ~ 6/28	6/21	/

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日及び生育ステージの+は遅い、-は早いことを示す。

※ 成熟期のR2年見込みは、出穂期に成熟期までの日数の目安(大麦:40~45日, 小麦:45~50日)を加えた日にち。

※ 水沼ホワイトファイバー調査ほは調査2年目、太田シラネコムギ調査ほは、調査5年目のため平年差は記載しない。



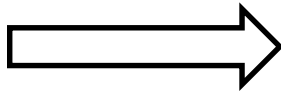
3. 今後の管理

(1) 適期刈取：ほ場をよく観察し、適期に刈取しましょう！

- ◆ 麦類の成熟期及び収穫適期の目安は下図のとおりです。
- ◆ 収穫時期が梅雨にかかる可能性があり、穂発芽が懸念されます。こまめにほ場を観察し、適期刈取に努めましょう。

出穂期(本年)

シュンライ
4/25～5/5頃
ミノリムギ
5/1～5/10頃
シラネコムギ
5/5～5/15頃



大麦
約40～45日後
小麦
約45～50日後

成熟期(見込み)

シュンライ
6/5～6/15頃
ミノリムギ
6/10～6/20頃
シラネコムギ
6/15～6/30頃

およそ3日後



収穫適期

子実水分 30%以下

麦類の成熟期の目安

●外観の色

茎葉、穂首が黄色くなった頃

●子実の色

大麦 ▷ 黄白色

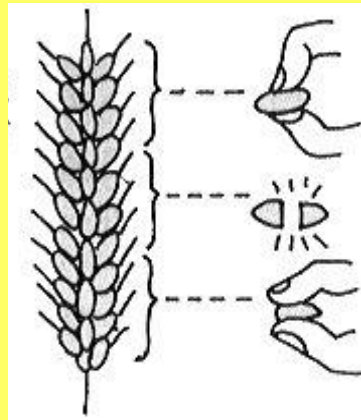
小麦 ▷ 褐色

●子実の硬さ

指で押さえて乳汁がでない
ロウ状の硬さ

大麦の成熟期判定

穂軸、茎葉が黄化し、
粒は弾力がなく
ロウ状の硬さ
(水分30～35%)



爪で押さえても
つぶれない

ポツツン

少しくつぶれる

ポイント

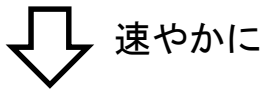
早刈りすると ▷ 登熟不足や空洞麦発生による子実重、品質低下
刈遅れると ▷ 発芽粒や退色粒の発生、大麦の白度低下、
小麦のフォーリングナンバー低下
の大きな原因となるので注意！

(2) 乾燥

- ◆ 子実水分をこまめに確認しながら、送風温度に注意して、品質低下を防ぎましょう。

刈 取

- 子実水分 30%以下



乾 燥

- 送風温度
50~60℃ (穀温40℃以下)
- 仕上げ水分
大麦 12%以下
小麦 11%以下



選 別

唐箕選等でゴミを除き、
ライスグレーダーで選別

**事前にJAの下見指導を受けて
適切な網目を使用しましょう!**

※網目によって等級が変わる場合があります



子実水分が高いときは



●刈取をいそがない

コンバインの扱胴回転数が高いと損傷粒が生じるので、作業速度を遅くしたり、刈取り条数を減らしたりして収穫

●刈取った麦を積まない、 放っておかない

積み重ねて放置すると短時間で穀温が上昇して変質するので、刈取り後は速やかに乾燥

●乾燥を急がない

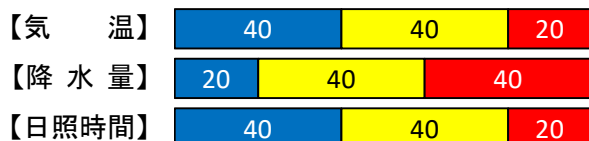
高温で急速に乾燥すると熱損粒が発生しやすく、特に小麦では品質が著しく低下します。

子実水分が30%以下になるまでは送風温度を40℃くらいの低めにし、張り込み量を6~7割程度に

1か月予報 (5/16~6/15) 仙台管区气象台 5月14日発表

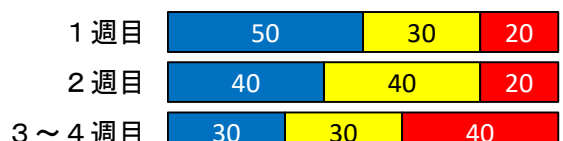
天気は数日の周期で変わりますが、
年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い